

岩木健康増進プロジェクト健診にご参加いただいた皆様へ

2026年3月23日更新

岩木健康増進プロジェクト健診で収集した健診データを下記の研究・開発のために提供及び利用させていただくことになりました。項目5に記載した年度の健診にご参加いただいた方で、ご自身のデータが提供及び利用されることを希望されない場合には、「情報利用提供停止願」を項目12の送付先までご提出くださいますようお願い申し上げます。ただし、お申し出いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、データを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。また、本研究に関する詳細をお知りになりたい方は、項目13に記載のお問い合わせ先までご連絡ください。

1 研究課題名	野菜摂取が認知機能関連指標に与える影響の解析
2 研究責任者の氏名と所属研究機関の名称	カゴメ株式会社 食健康研究所 所長 鈴木重徳
3 共同研究機関等の名称と各施設の責任者の氏名	弘前大学大学院医学研究科 教授 伊東健 シスメックス株式会社中央研究所 所長 佐藤利幸
4 研究期間	実施許可日 ～ 2026年 12月 31日
5 提供・利用するデータ	2015～2024年度の岩木健診で取得されたデータ <ul style="list-style-type: none">• 先行研究「岩木地区・相馬地区住民における健康調査(平成27年度岩木健康増進プロジェクト プロジェクト健診)及びこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」、「岩木地区住民における健康調査(平成28年度/平成29年度岩木健康増進プロジェクト・プロジェクト健診)及びこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」、「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」、「岩木地区住民並びに弘前市民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発」で収集し、加工(氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与)され、岩木データベースに登録されたデータです。• 個人を特定できる情報は利用しません。• 本データの提供は、COIデータ管理委員会及び倫理審査委員会の審査で承認されています。
6 データの提供・利用目的	高齢化社会が加速する日本において、健康寿命の延伸は喫緊の課題の一つです。最近の知見で認知症は発症する約20年前からその予兆物質が蓄積することが明らかとなっているため、発症年齢より若い時期から予防することが重要であると考えられます。その一例として野菜摂取の習慣が認知症と関連している可能性が報告されていることから、本研究では、健診データを用いて、野菜摂取と認知機能との関連を明らかにします。 <u>また、認知症のリスクとして知られる遺伝子型データを追加し、より精度高い解析を実施します。</u>

7 データの利用方法	健診データを弘前大学の解析システムを用いて解析します。なお、データの提供は弘前大学 COI データ管理委員会が安全性を確認した媒体を用いて行います。
8 データの提供予定日	原則として本文書の掲載から 10 日後
9 本課題の資金源について	本課題の資金源は、カゴメ株式会社及びシスメックス株式会社が出資する共同研究講座の研究費用です。利益相反が生じる可能性があります。この研究の利害関係については、弘前大学及びカゴメ株式会社、シスメックス株式会社で責任をもって管理いたします。
10 データの提供機関及び機関の長の氏名	弘前大学健康未来イノベーション研究機構 機構長 村下公一
11 データの管理・提供責任者の氏名	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター センター長 玉田 嘉紀
12 情報利用提供停止願送付先	郵送先: 〒036-8562 弘前市在府町 5 弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター 玉田 嘉紀 電話: 0172-39-5037(代表) FAX: 0172-39-5205
13 本研究に関するお問い合わせ先	カゴメ株式会社 食健康研究所 鈴木重徳 〒329-2762 栃木県那須塩原市西富山 17 TEL: 080-1573-5837 E-mail: Shigenori_Suzuki@kagome.co.jp